

生物学的男性の「性同一性障害」は、 本質的に区別可能な中核群と周辺群から成り立っている

大学院医学系研究科

健康社会医学専攻 健康増進医学講座 精神健康医学分野

古橋 忠晃

指導教員 小川 豊昭

①緒言

性同一性障害の診断は、DSM-IV-TR (APA, 2000) では「反対の性に対する同一感」と「自分の性に対する不快感」の基準によってなされる。日本においては、日本精神神経学会のガイドラインで患者に一樣に対応しようと試みているが、実際に精神科を受診した、特に男性性同一性障害の患者は「初めて性別違和感を自覚した年齢」(古橋, 2008) や性指向 (岡部, 2008) (Blanchard, 1990) (Lawrence, 2003) などにおいて臨床的に多様性を示しているという報告がある。それらの多様性に対して、最も適切な分類・対処を決定することが差し迫った課題である。

性指向や一次性／二次性で二群に区分する先行研究は存在するが、それぞれの群が臨床的に同じ経過をたどっているわけではなく、さらに、それぞれの群の中に「治療で何をを目指すのか」という点で一致しない患者が混入してしまうように思われる。そこで、本研究では、男性性同一性障害の患者を「自覚年齢」で二群に区分することが適切であるという仮説を立て、その仮説を実証することを試みた。

②対象及び方法

2001年1月から2009年8月まで、大学病院を受診した全27例の性同一性障害の男性事例について、数回の診察による本人からの聴取によって、彼らの幼少期の性同一性に関するエピソードなどを集めた。そして、幼少期に女性の服装や行動への憧れ (反対の性に対する同一感) が出現していたタイプと、思春期以降に「自分の性に対する不快感」が出現したタイプで二群に区分した (自覚年齢による区分)。そして、両群において、臨床像、性的指向、背景にある精神疾患、初診時年齢などについて検討した。

③結果

全27例のうち、幼少期に「反対の性に対する同一感」の生じた14例を「中核群」、思春期以降に「自分の性に対する不快感」の生じた13例を「周辺群」と定義した。精神科初診時の年齢は「中核群」(39.1 ± 8.4 years) が「周辺群」(31.2 ± 10.5 years) より有意に高かった (Student's *t*-test, $p = 0.03999$ で $p < 0.05$ 、5% 水準で有意差あり)。精神療法の結果、「中核群」においては「私は女性である」という確信が揺らぐことはなかったが、「周辺群」においては最終的に「反対の性に対する同一感」が消失した。

男性性同一性障害の全27症例について、「初診時年齢」、「反対の性に対する同一感」の「出現時期」、「自分の性に対する不快感」の「出現時期」、「初恋の時期」、「婚姻状態」などに注目した。

④考察

「中核群」については、幼少期の「女性になりたい」という願望の出現の理由を患者に問い続けても、明確な理由を述べることはなかった。さらに、診察の場面で、この願望以前の記憶を想起させることも困難であった。「中核群」は、既に幼少期に心的構造の中に、「私は女である」という確信があったように思われる。

「周辺群」は青年期の精神医学的問題がベースになっていることが多いからこそ、比較的若い年齢での受診に至る傾向があると考えられた。一方「中核群」は、一旦は男性としての役割を果たそうとした上で、「反対の性に対する同一感」が消失した後に、30代後半になって、徐々に再び自身が女性であることを実感し始め、その段階で受診する症例の存在が少なからずあった。こうした理由で患者の受診に至る年齢が高くなると思われた。

男性性同一性障害について、自覚年齢でこのような「中核群」と「周辺群」の二つのタイプを考えることは、彼らのその後の治療上の戦略を決める上で臨床的に重

要であると思われた。「中核群」は Docter の「一次性性転換症」、Stephen の「一次性性転換症」、Blanchard, Lawrence, Yolanda らの「同性愛型性転換症」などの既存のサブタイプを包含し、「周辺群」は Docter の「二次性性転換症」、Stephen の「二次性性転換症」、Blanchard, Yolanda らの「非同性愛型性転換症」、Lawrence の「オートガイネフィリア型性転換症」などの既存のサブタイプを包含していた。

⑤結語

男性性同一性障害の患者を「自覚年齢」で「中核群」と「周辺群」の二群に区分することが適切であることと、その上で、治療戦略として、「中核群」に対しては女性になりたいという願望を支持的に支援していくこと、「周辺群」に対しては身体的に女性化させる治療よりも精神療法を優先させることが有効であることが考えられた。